

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英語 2 B	
科目基礎情報							
科目番号	101740			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	生物応用化学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	前期:4 後期:2		
教科書/教材	My Way English Communication II My Way English Communication II Workbook My Way English Communication II リスニングCD						
担当教員	佐渡 一邦,木田 綾子						
到達目標							
1. 600語前後の新出語を理解し、活用できる。 2. 学習した英文を正しく発音できる。 3. 学習した文型、慣用表現を活用できる。 4. テキストの英文を読んで、情報や書き手の意向を理解できる。 5. テキストの英文を聴いて、情報や話し手や書き手の意向を理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	600語程度の新出語の中で、意味がわかり、綴りが正しく書ける語が80%以上ある。		600語程度の新出語の中で、意味がわかり、綴りが正しく書ける語が60%以上ある。		600語程度の新出語の中で、意味がわかり、綴りが正しく書ける語が60%未満である。		
評価項目2	学習した英文を正しく発音できる。		学習した英文をほぼ正しく発音できる。		学習した英文を正しく発音できないことが多い。		
評価項目3	学習した文型、慣用表現を活用できる。		学習した文型、慣用表現を理解しているが、活用は充分にはできない。		学習した文型、慣用表現の理解も活用も不充分である。		
評価項目4	テキストの英文を読んで、情報や書き手の意向を80%以上理解することができる。		テキストの英文を読んで、情報や書き手の意向を60%から80%程度は理解することができる。		テキストの英文を読んで、情報や書き手の意向を60%以上理解できない。		
評価項目5	テキストの英文を聴いて、情報や話し手や書き手の意向を80%以上理解することができる。		テキストの英文を聴いて、情報や話し手や書き手の意向を60%から80%程度は理解することができる。		テキストの英文を聴いて、情報や話し手や書き手の意向を60%以上理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
コミュニケーション能力 (E)							
教育方法等							
概要	科学・歴史・文化など様々な話題を取り上げた総合英語テキストを用いて、読解力、基礎文法力、語彙力、リスニング力の向上を目指す。						
授業の進め方・方法	内容把握中心の授業を展開し、小テストやワークブックなどで随時学習事項を確認していく。 授業前にCDを使って、進出単語と本文の音声聴き、実際に自分でも発音・音読ができるようにしておくこと。 また、ノートに本文を書き写し、新出語の意味・発音を調べ、文の意味を確認し、それらをノートに記入して、授業に臨むこと。その際、ワークブックやFactbokを活用すること。						
注意点	英語1で学習した文法事項や語・慣用表現の定着を図っておくこと。						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。 本科目は履修要覧(p.9)に記載する「②専門基礎科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Lesson 1: Pictograms		1,2,3,4,5		
		2週	Lesson 1: Pictograms		1,2,3,4,5		
		3週	Lesson 2: A New Way to Clean Up the Ocean		1,2,3,4,5		
		4週	Lesson 2: A New Way to Clean Up the Ocean		1,2,3,4,5		
		5週	Lesson 3 : Cuba		1,2,3,4,5		
		6週	Lesson 3 : Cuba		1,2,3,4,5		
		7週	中間試験				
		8週	試験返却		1,2,3,4,5		
	2ndQ	9週	Lesson 4: The World's Poorest President		1,2,3,4,5		
		10週	Lesson 4: The World's Poorest President		1,2,3,4,5		
		11週	Lesson 5 : Eye Contact		1,2,3,4,5		
		12週	Lesson 5 : Eye Contact		1,2,3,4,5		
		13週	Lesson 6: Space Elevator		1,2,3,4,5		
		14週	Lesson 6: Space Elevator		1,2,3,4,5		
		15週	期末試験				
		16週	試験返却・Lesson 5: Eye Contact		1,2,3,4,5		
後期	3rdQ	1週	Lesson 7: An Encouraging Song		1,2,3,4,5		
		2週	Lesson 7: An Encouraging Song		1,2,3,4,5		

		3週	Lesson 7: An Encouraging Song	1,2,3,4,5
		4週	Lesson 7: An Encouraging Song	1,2,3,4,5
		5週	Lesson 8: Language Contact	1,2,3,4,5
		6週	Lesson 8: Language Contact	1,2,3,4,5
		7週	Lesson 8: Language Contact	1,2,3,4,5
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	試験返却	1,2,3,4,5
		10週	Lesson 9: Charles Chaplin	1,2,3,4,5
		11週	Lesson 9: Charles Chaplin	1,2,3,4,5
		12週	Lesson 9: Charles Chaplin	1,2,3,4,5
		13週	Lesson 10: The Five-story Pagoda in Horyuji	1,2,3,4,5
		14週	Lesson 10: The Five-story Pagoda in Horyuji	1,2,3,4,5
		15週	学年末試験	
		16週	試験返却	1,2,3,4,5

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

評価割合						
	試験	発表	小テスト	提出物	合計	
総合評価割合	60	10	10	20	100	
基礎的能力	60	10	10	20	100	